

2013 年 5 月 12 日 「全国責任者会議報告」 石川祐司教会長

本日は、全国責任者会議の報告でした。以下に、訓読のみ言を掲載いたします。

＜訓読のみ言＞

『祝福家庭と理想天国(2)』（御旨と世界「勝敗と現在」）

今、我々は勝者となるか、敗者となるか、その運命が決定される分岐点の上に立っている。それが今から十年後に決定されるのではない。今のこの時点において決定されるのである。この現在の時点を乗り越えることができない人は、勝利者となることができないであろう。現在を克服できない人は、未来の勝利をもたらすことはできない。

歴史と共に歩きながら、新しい歴史創造に参加しなければならないのである。天の目的と天の悲しみと、天の権威のためにも我々はじっとしてはいられない。

統一教会を世間では異端といている。しかし、このように批判し続けていって、結局は、何も言われなくなってくる時が来るであろう。その時は統一教会がぐーっと浮かび上がるのだ。

それゆえに皆様は、たとえ一日の生活にしても、いいかげんにしてはならない。一日の生活を貴重なるものと考えなくてはならないのである。一日、一日をまじめに生活しながら、一歩一歩を気高く踏んで進まなくてはならない。

我々は敗者としての悲しみを味わうようになってはならない。このような角度から我々は自我を分析し、批判しなければならないと思う。そして勝利のための苦難を克服する覚悟を決める時が、今なのである。